



しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第18号

発行日：平成23年6月

〒722-8503
尾道市新高山3丁目1170-177
tel:0848-47-1155
fax:0848-47-1004
<http://www.onomichi-hospital.jp/>

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



集学的がん治療センター開設ごあいさつ

尾道市立市民病院がん診療統括部部長中井です。

このたび2011(平成23)年3月11日に発生した東北関東大震災は皆様もご存知の通り未曾有の惨事をもたらし、更に福島における原子力発電関連の事故も相次ぎ、被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。被害にあわれた地域の医療現場も混乱しており、救援活動が続いている現在、同地域への支援と同時に、被害にあっていない地域の医療のよりいっそうの充実が必要とされます。

当院はがん診療機能を強化するため、がん診療統括部を2010(平成22)年6月より立ち上げ、同年11月より広島県指定がん診療連携拠点病院に認定されました。地域住民が一連の質の高いがん診療を地元で安心して受けられるように、システムとして統一された医療体制の確立、地域医療連携の構築を目標として活動しておりますが、その中で2011(平成23)年4月より新たに集学的がん治療センターが開設されました。がん診療統括部組織体系のなかで重要

な役割をなす部署ですが、化学療法、放射線治療、緩和支援医療を受けている患者さんを同一の病棟で診療するシステムで、詳細は同センター長の川真田医師から紹介がありますので、ここでは省略させていただきます。同センターは病床もゆったりしており、また窓越しからの眺めも良く、充実した医療を提供できると思っております。

今後とも、集学的がん治療センターをよろしくお願い致します。

尾道市立市民病院
がん診療統括部 部長 中井 肇



集学的がん治療センター開設にあたって



集学的がん治療センター長
川真田 修 医師

当院5階東病棟を改築し、抗癌剤治療と緩和医療の機能を集約した集学的がん治療センターが4月4日より稼動しております。

基本理念は、安全で高度ながん治療を提供することを謳っています。医師、薬剤師、看護師それぞれががん治療における専門性を有し、チーム医療としてそれを患者さんに提供することを目的としています。具体的には、まず抗癌剤の投与方法をエビデンスに基づいて院内で登録し、勝手な医師の裁量で投与方法が決められないようにしたこと（標準治療をしっかりと行うことを目的としています）。

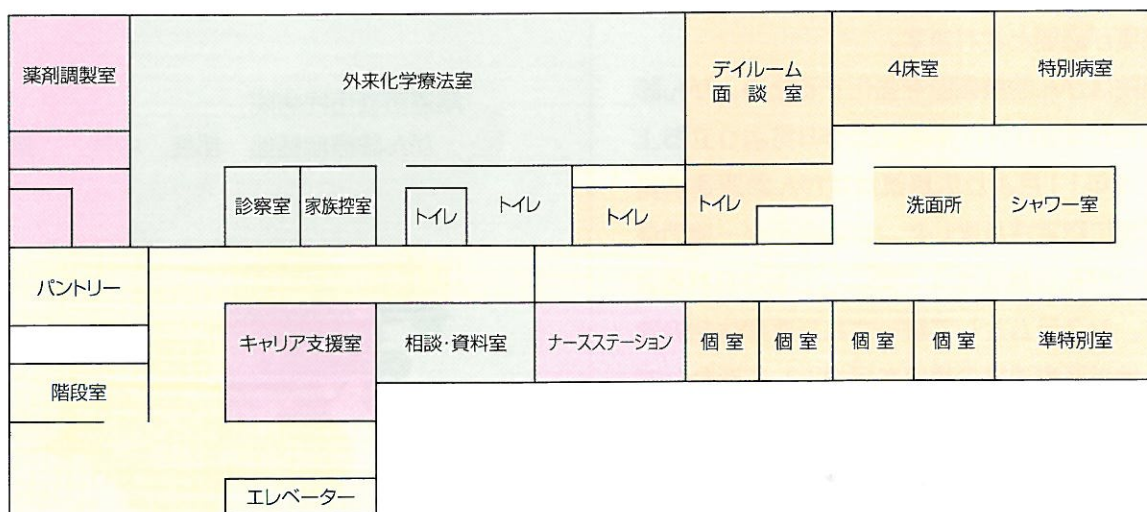
抗癌剤を調整するのは専門の薬剤師が行い、薬剤を二重にチェックすることにより薬の間違いや投与量の計算間違いなどが生じないようにしています（これで安全性が保障されます）。

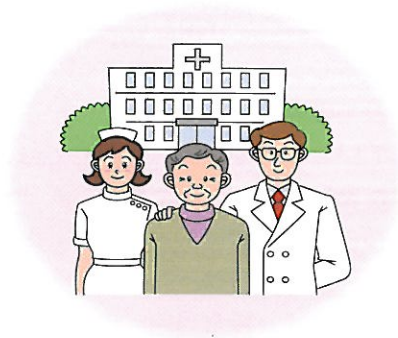
外来化学療法を受けられる患者さんが増えてきたことにより、ご家庭での副作用対策が重要になってきました。このため当院では院内での

がん治療のトレーニングを定め、これを終了した看護師が院内がん治療認定看護師としてセンターに配属されることにより、患者さんの質問や副作用予防の対策などにお答えできるようになってきました。

認定看護師は緩和医療にも同様の仕組みを備え、がん専門看護師が緩和専門看護師としても専門性を発揮し、癌性疼痛に対する対策を講じることが出来るようになっていました。施設も患者さんにリラックスして治療を受けていただけるよう配慮しています（5階にありますので見晴らしもとてもいいです）。抗癌剤の副作用軽減と癌性疼痛の軽減は同じ領域にあるため、どちらの知識も必要であり当院ではすべてのがん患者さんを集学的がん治療センターでお世話させていただきます。入院施設も併設されており、入院治療から外来治療へスムーズに移行できることもこのセンターの特徴です。抗癌剤を使用することだけが癌の治療ではありません。放射線治療、緩和医療など癌に関連するすべてのことを集学的がん治療センターでお世話させていただきます。どのようなご質問でも結構ですので、気軽にスタッフに声をかけていただければと考えております。皆様のご支援で、このセンターをよりいいものに育てていただければ幸いです。

集学的がん治療センター（5階東）平面図





▲【外来化学療法室】
 電動ベッド4台・
 TV受信機付きリクライニングベッド8台



▲【特別室】
 トイレ・バス・ミニキッチン・応接セット・
 家族用ソファベッド・TV等付き



▲【準特別室】
 トイレ・ミニキッチン・応接セット等付き

☆ 院内認定制度授与式 ☆

○緩和ケア ○感染管理 ○外来化学療法看護



集学的がん治療センターにおける薬剤師の業務



この4月から、薬剤師が外来及び入院の抗がん剤の混合調製やレジメン（抗癌剤の種類、投与量・方法、投与間隔などを設定した治療計画書）管理をしています。業務の流れとしては、オーダーされた薬剤は投与前日に患者さんごとにセットし、レジメンと照らし合わせて処方監査を行います。内容に問題なければ、薬剤を薬剤調製室に搬入します。投与当日、患者さんの状態に問題なければ、実施確認連絡を受けてから薬剤師2名でダブルチェックを行いながら混合調製を行い、外来治療センター及び病棟に払い出します。混合調製は安全キャビネット（写真）の中で行っています。

薬局次長 堀井 克彦

最新型リニアックを導入しました

リニアックは1988（昭和63）年に導入され23年と長期間使用されたのち、2010（平成22）年6月に最新型が導入されました（写真）。より少ない副作用で治療可能で、高精度治療の強度変調放射線治療（IMRT）にも対応しており現在準備しております。

精度管理機器一式も当院で揃えており、計画用CTは大口径で患者さんにご迷惑をかけるなくなっています。最新の治療計画装置を機能別に4台導入し、スタッフの余分な待機時間をなくしています。待合室は日の光が少し入り暖かい色調で、カーテンやモニターフィルターでプライバシーを守るよう留意しています。

画像誘導放射線治療（IGRT）も行うことができ、頭部から四肢まで幅広い部位に対して2・3次的に行うことができます。当院の方式はリニアックのみで行い可動部分が少ないため低コストで高精度に行えます。オートですので迅速に施行可能で、計算中の体動を考慮する必要がありません。

情報は電子化され病院カルテから閲覧可能です。事故防止とコストに留意して放射線治療部門内部では可能な限り同一システムを採用し、部門カルテと画像サーバーは放射線診断部門と共用しています。

詳細はホームページを是非ご覧ください。（当院のがん診療の現状－がん診療統括部について－集学的がん治療センター－放射線治療）。

前医長時代の2002（平成14）年に新患者100人を下回ったため永らく保険点数が低く抑えられてきましたが、2011（平成23）年1月に年換算で100人を回復しました。1台のリニアックで年間新患400人程度は治療可能で、当院はまだまだ対応させていただくことが可能です。放射線治療は科の特性上、ご紹介は内科、外科や泌尿器科などそれぞれの臓器担当科にいただければと存じます。

放射線科



紹介・ごあいさつ



内科
高取 優二 医師

2011(平成23)年4月より尾道市立市民病院内科で勤務させていただいております高取優二と申します。

2000(平成12)年鳥取大学を卒業し、岡山大学第三内科に入局しました。愛媛県の十全総合病院や松山市民病院で研修した後、2005(平成17)年より岡山大学病院で勤務しておりました。

岡山大学病院では主に腎不全外来、入院患者の透析管理を行っており、また関連病院の重井附属病院にて維持透析患者の管理を行っておりました。

この度透析センター長に任命していただき、透析医療に一層の研鑽を重ねるとともに、内科医として一般内科診療にも携わって行きたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



内科
桶作 崇智 医師

はじめまして。内科に所属している桶作崇智と申します。

4月より、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療後期研修プログラムを行うため、尾道に参りました。今後は他の科や瀬戸田診療所でも研修をさせて頂く予定です。

さて、「プライマリケア」や「家庭医療」が何かわからない方も多いと思います。簡単に説明したいところですが、学会や偉い先生がいろいろな説明をしていて、スッキリとした説明は難しいです。

自分としては、患者さんやスタッフの皆さんに「居てくれて良かった」と思ってもらえることを目標に頑張りたいです。そして、これが「プライマリケア」や「家庭医療」につながっていくと思っています。よろしくお願ひします。

内科
浦田 矩代 医師

2011(平成23)年4月より尾道市立市民病院内科で勤務しております浦田矩代と申します。

私は2009(平成21)年に岡山大学を卒業し、卒後臨床研修医として当院で勉強をさせて頂きました。2年間という限られた時間の中ではありましたが、多科に渡って緊急疾患や様々な病態の患者さんの治療に参加させて頂いて、大変勉強になりました。また、瀬戸田診療所や、多くの開業医の先生方、そして老健施設との連携の重要性についても日々考えさせられる場面がありました。

高齢化を迎えているこの尾道という地域だからこそ、内科医を志す者としてやるべき事が山程あると思ひまして、3年目も勤務させて頂く事と致しました。

まだまだ至らぬ点多々ありますが、精一杯に診療をさせて頂こうと思っておりますので、何卒宜しくお願ひ致します。



千光寺にて撮影

撮影者 浦田 矩代

紹介・ごあいさつ



循環器内科
圓光 賢希 医師

この度、2011(平成23)年4月より尾道市民病院に勤務いたしております。

2000(平成12)年3月に福岡大学医学部を卒業し、岡山大学循環器内科に入局その後、岡山大学病院、岡山赤十字病院、福山市民病院、岡山市市民病院に勤務した後、2009(平成21)年より岡山大学病院に帰局しました。2010年(平成22)3月に学位を取得した後、この度尾道市民病院に赴任いたしました。

私の出身は因島です。この度故郷の近くに勤務する機会をいただきうれしく感じております。

今までの経験が少しでも地域の方々のお役にたてれば幸いです。

宜しくお願い致します。



整形外科
真鍋 博規 医師

2011(平成23)年4月1日より尾道市立市民病院整形外科で勤務させていただいております。

私は1999(平成11)年に岡山大学医学部を卒業し、2年間麻酔科の研修を行った後、岡山大学整形外科に入局しました。入局後は、大学院生としてリウマチの研究を行いました。その後、鳥取市立病院、岡山労災病院、竜操整形外科で研修を行いました。昨年度1年間、スポーツ整形外科の科修のため、千葉県の船橋整形外科で、関節鏡手術及びリハビリのトレーニングを受けました。

今後は、地域医療として一般整形外科はもちろん、スポーツ整形にもがんばっていきたいと思います。まだまだ未熟ですが、よろしく願います。



泌尿器科
堀川 雄平 医師

2011(平成23)年4月より尾道市立市民病院泌尿器科に赴任いたしました堀川雄平と申します。

出身は岡山で、岡山大学で医学を学ぶまでの20数年間を岡山で過ごして参りました。

部活は囲碁部に所属し、碁盤を通して年齢の枠を越えた交流をすることができました。部活の合宿で因島の方と対戦した事がありますが、大変強かった事を記憶しております。

卒業後は初期臨床研修を岡山中央病院で行い、大学の泌尿器科に入局してからは、福山・香川県観音寺市そして尾道へと転勤して参りました。泌尿器科医として6年目で、まだまだ医者としては未熟であり、諸先生方には多々御迷惑をおかけすると思っておりますが、一生懸命がんばってまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。



麻酔科
大西 淳司 医師

2011(平成23)年4月1日より尾道市立市民病院麻酔科にて勤務させていただいております大西淳司と申します。このたびは突沖先生の下、市民病院の手術部の一員として業務に携わる事を光栄に思います。

私は、2004(平成16)年に岡山大学を卒業しました。卒業後臨床研修の始まった最初の年にあたります。愛媛県の松山市民病院にて研修をいたしまして、その後岡山大学麻酔蘇生科に入局いたしました。そして麻酔・集中治療の研修を行ってきました。

このたび市民病院にての勤務ということで地域医療の拠点でもあり、身がひきしまる思いがいたします。

みなさまの御指導・御鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

泌尿器科紹介・ごあいさつ

前立腺肥大症と尿路結石に対する新しいレーザー治療装置が導入されました。

2010(平成22)年冬に新しいレーザー治療装置が導入され、治療を開始しました。これは、ホルミウムヤグレーザーというレーザーを出す装置で、主に泌尿器科の内視鏡手術に使用されます。

対象となる疾患は、前立腺肥大症と尿路結石です。前立腺肥大症に対しては腺腫をくり抜いて取り除く「経尿道的前立腺核出術」(HoLEP)を行うことができ、この手術では従来開腹手術が行われていた比較的大きな前立腺肥大症に対しても開腹することなく安全に手術が行えます。

また同じ装置で尿路結石を内視鏡下に安全に破碎することができ、特に軟性尿管ファイバーを用いた「経尿道的尿管結石破碎術」(fTUL)で威力を発揮します。泌尿器科の内視鏡手術をより安全確実に行うことができますので、合併症等によりこれまで手術が行えなかった方にも手術ができるなど、大きな効果が期待されています。



泌尿器科 診療科長 大枝 忠史 医師

新人看護職員研修ガイドライン実施について



研修責任者
藤本 千昭

今回私は、新たに看護部教育研修責任者として任命されました。

最近では、医療の高度化や在院日数の短縮化、医療安全に対する意識の高まりなど国民のニーズの変化を背景に問題は大きく取り上げられています。

- ①看護現場で必要とされる能力と看護基礎教育終了時点の能力との乖離
 - ②看護の質向上、医療安全の確保、早期離職の観点から新人看護職の卒後研修は不可欠
- これらのことから、ガイドラインが作成され、卒後臨床研修が努力義務化されました。

今後私は、新人看護職を支える組織体制を構築し、研修計画の立案・実施・評価、実施指導者・教育担当者の育成に力を入れていきたいと思っています。



今年もたくさんの新しい仲間が加わりました!

科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
 休日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

区分科別	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	宮田 明 内科全般	
	2 診	藤野 寿幸 内分泌・代謝	水戸川 剛秀 内科全般	開原 正展 腎・高血圧	水戸川 剛秀 内科全般	藤野 寿幸 内科全般	
	3 診	城戸 雄一 糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	高取 優二 腎臓内科	高取 優二 腎臓内科	当真 貴志雄 内科全般	
	4 診				城戸 雄一 糖尿病		
総合診療科	1 診	勝山 隆行	宮田 明	甲斐 華恵	橋本 崇智	岩戸 真紀	
	2 診		橋本 洋夫	浦田 矩代		浦田 矩代	
呼吸器内科	診察	巻幡 清		巻幡 清	川真田 修	巻幡 清	木曜日は外科
消化器内科	診察	甲斐 華恵	前島 玲二郎	河合 良成	河合 良成	前島 玲二郎	
循環器内科	診察	小林 博夫	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	PM検査
神経内科	診察		岡本 美由紀	※松山 善次郎		逸見 祥司	※物忘れ外来
外科	1 診	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	宇田 征史 消化器・鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	村田 年弘 外科全般	
	2 診	松本 朝子 外科全般	上塚 大一 消化器・ヘルニア	上塚 大一 肛門外科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
整形外科	1 診	廣岡 孝彦	藤井 淳一	廣岡 孝彦	藤井 淳一	廣岡 孝彦	
	2 診	藤井 淳一	河合 亮	川上 直明	真鍋 博規	川上 直明	
	3 診	川上 直明	装 具	真鍋 博規		※1 河合 亮 ※2 藤井 淳一	※1 第1・3金曜日 ※2 第2・4金曜日
小児科	1 診	佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	佐藤 正義	月1回林優子 偶数月第4金曜日脳研自
脳神経外科	1 診	土本 正治	合田 雄二	岩戸 英仁	土本 正治	合田 雄二	月曜日のみ2診
	2 診	合田 雄二					
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	村上 優子 大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	9時30分より診察
皮膚科	診察	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	上田 武滋	
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	堀川 雄平	野崎 邦浩	野崎 邦浩	大枝 忠史	
	2 診	野崎 邦浩	大枝 忠史	野崎/堀川 ※	大枝 忠史	堀川 雄平	※隔週交代
耳鼻いんこう科	診察	竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	竹田 雅聖	
眼科	診察	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	手 術	諫見 久恵	
放射線科	画像診断	三船 啓文 岸 亮太郎	三船 啓文 岸 亮太郎	三船 啓文 岸 亮太郎	三船 啓文 岸 亮太郎	三船 啓文 岸 亮太郎	
	治療		※勝井 邦彰				※毎週火曜AM・金曜PM
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手 術	吉田 明弘	吉田 明弘	
午	内科	検診	検診	検診	検診	検診	
	循環器内科		ペースメーカー外来				14:00から
	循環器内科検査	心カテ	経食エコー	心カテ	経食エコー	心カテ	13:00から17:00
	外科	手術	検査	手術	検査	手術	
	整形外科	検査	手術	手術	手術	手術	
	消化器内科	検査	検査	検査	検査	検査	内視鏡検査
	小児科		乳児検診	予防接種	慢性疾患 予約外来	慢性疾患 予約外来	月～金 脳波検査
	脳神経外科	検査	手術	検査	手術	検査	
	産婦人科	母乳外来		母乳学級 ※	母乳外来	母乳外来	
		1ヶ月検診		※第2・3・4週のみ	1週間検診	1週間検診	
皮膚科	手術	検査	手術	検査	検査		
泌尿器科	手術	手術	検査	手術	手術	予約外来 検査	
	手術	手術	検査	手術	手術	検査	
耳鼻いんこう科	手術	検査	睡眠時無呼吸外来	手術	検査	検査	
眼科	検査	検査	検査	検査	検査	検査	
歯科・歯科口腔外科	手術	手術	口腔外科	検査	口腔外科	予約診療	
放射線科	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断	画像診断 血管造影	画像診断 治療(勝井邦彰)	画像診断 治療(勝井邦彰)	予約診療
専門外来	禁煙外来(上田)		血管診療検査 (血管診療センター)	睡眠時無呼吸外来 母親学級	血管診療検査 (血管診療センター)	1週間検診	
	乳腺外来(松岡)		ペースメーカー外来	母乳外来	母乳外来	乳腺外来(増村)	予約制
	乳腺外来(本後)		母乳外来・1ヶ月検診 黄斑外来(諫見)	物忘れ外来	母乳外来 1週間検診		

案内図

